

芦屋大学

受講料無料



公開講座

芦屋市民センター 401 室 (定員90名) と オンライン開催

令和5年3月4日【土】 14:00~15:30



「SDGs」について考えてみよう！

芦屋大学 臨床教育学部 児童教育学科 准教授 児童教育学科主任 毛利 康人

講演概要

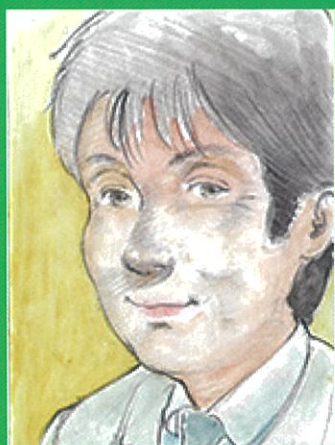
「SDGs」を知っていますか？テレビやマスコミで聞いたことがあるけど、詳しく知らない環境問題のことだと思っている方が多いと思います。「SDGs」は、2030年達成を目指し、全世界が取り組んでいる内容であり、一人でも多くの方に関心をもっていただきたい内容です。今日は、「SDGsって何？」という身近な内容をお話し、これからの私たちの暮らしをみんなと一緒に考えていけたらと思います。ご家族やお友達、子どもから大人の方まで気軽な気持ちでご参加ください。アットホームで楽しい時間を共有しましょう！

プロフィール

奈良市公立小学校校長・幼稚園長、奈良市教育委員会を経て、大学教員へ。研究はESD(持続発展教育)、SDGs、環境教育、理科、生活科教育など幅広い。市民ランナーでフルマラソン11回完走。小学校への出前授業、教員・保護者への講演など。大学で楽しく授業、学生のボランティア活動支援。



令和5年3月24日【金】 14:00~15:30

「映画とはニコラス・レイのことだ
——芸術としての教育をめぐって」

芦屋大学 臨床教育学部 教育学科 教授 大石 徹

講演概要

『孤独な場所で』や『理由なき反抗』といった映画を監督したニコラス・レイは、芦屋にゆかりの深い建築家フランク・ロイド・ライトの弟子でした。レイについては、ジャン＝リュック・ゴダールが「映画とはニコラス・レイのことだ」と絶賛したのをはじめ、ジム・ジャームッシュ、ヴィクトル・エリセ、ヴィム・ヴェンダース、クエンティン・タランティーノたちも尊敬しています。晩年は大学教師だったレイの教育論を解説します。

プロフィール

慶應義塾大学文学部卒業、東京都立大学大学院社会科学部研究科博士課程単位取得退学。米国の映画作家や吟遊詩人を研究。翻訳書『使い捨てられる若者たち——アメリカのフリーターと学生アルバイト』岩波書店、共著『ユニバーサル・ミュージアム——さわる！“触”の大博覧会』小ざ子社、『ひとがやさしい博物館——ユニバーサル・ミュージアムの新展開』青弓社、『「使い捨てられる若者たち」は格差社会の象徴か』ミネルヴァ書房、など

※新型コロナウイルス感染症予防対策のため、入場者名簿を作成いたします。

※講義中もマスク着用のご協力をお願いいたします。ご入場の際には手指の消毒、検温にご協力ください。

【参加方法】 受講日に直接会場(芦屋市民センター 401 室)へお越しください ♡ お申し込み: 不要

オンライン参加 ♡ お申し込み: <https://forms.office.com/r/QA3fg2hhU1> または QR コードより

【問い合わせ】 芦屋市立公民館(芦屋市業平町 8-24) TEL:0797-35-0700 【主催】 芦屋大学、芦屋市立公民館

